

第8回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第8回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、「需要サイド、特に産業部門・業務部門におけるエネルギーの効率的利用の促進に向けた地方の役割と具体的な取組み」について研究を行いました。
- 冒頭、私の方から、委員間で忌憚のない議論を交わし、県に対する報告・提言に繋げていきたい旨の挨拶をさせていただきました。
- 次に、一般財団法人省エネルギーセンターの判治洋一理事から、「省エネルギーの現状と課題（産業・業務分野を中心に）」について御講演をいただきました。
判治理事からは、これまで我が国で取り組まれてきた省エネルギーの成果に加え、東日本大震災後の節電運動や省エネ診断事業から見えてきた省エネ余地について御紹介いただきました。
また、今後の省エネ・節電の取組みの方向性として、部分最適ではなく全体最適が重要でありシステム全体としての対策が必要なこと、エネルギー管理を始めとしたソフト対策の強化が必要であることなどの御提言もいただきました。
- 次に、事務局から、「事業所における省エネルギーの取組みに対する県の支援」として、官民連携組織「福岡省エネルギー推進会議」の下で取組みが進められている省エネ相談事業や人材育成事業などについて紹介がありました。
- また、事務局からは、「福岡県内における将来のエネルギー需要に関する調査」の進捗状況として、県内のエネルギー需給状況（現状）を地域別、産業別、燃料種別に分析した結果が報告されるとともに、これらのデータを基にした将来（2020年・2030年）のエネルギー需要予測手法について提案が行われました。
これらの分析結果・提案に対して委員から助言等があり、これらを踏まえ、事務局において更に調査を進めていくことが確認されました。
- 最後に、これらの講演・情報提供を基に、エネルギー価格の高止まりなどの影響も踏まえながら、省エネルギーの進んだ産業部門において一層の省エネルギーを進めるために何が必要か、業務部門におけるエネルギー利用の効率化と商業活動の活性化を両立させるためにどのような取組みが必要かなど、委員間で討議を行いました。
各委員からの積極的な意見・助言により、「需要サイド、特に産業部門・業務部門におけるエネルギーの効率的利用の促進に向けた地方の役割と具体的な取組み」が明確になりましたので、今後の報告・提言に反映させていきたいと考えております。
- 次回の研究会では、「平成25年度における議論の総括」を行うとともに、「平成26年度における研究会の進め方」に関する議論を行うこととしております。
研究会においては、国の動向等も踏まえながら更に研究を進め、福岡県の将来を大胆に見据えた意見・提言等を行ってまいりたいと考えております。